

小平特別支援学校 P T A Newsletter

9
2025
September

Pickup! 災害時の対策、してますか？

準備しておかなくちゃ！でも、日々に追われて後回し…そんな方も少なからずいらっしゃるのではないのでしょうか？
わが家は、利用している訪問看護ステーションが事業継続計画の一環として、利用者個人の災害時用の情報をまとめたファイル（必要物品・避難場所等の情報が記載）を提供。年に一度情報の見直しの声掛けをしてくれています。
そのおかげもあり、万が一罹災した際の対応について家族で話し合う機会がもてていますが、それまではお恥ずかしながらお得意の「まあ、なんとかする！」という甘い気持ちで構えていました…

小平特別支援学校は、9つの自治体から児童・生徒が通学しています。
登下校・放課後デイサービス・実習等、様々な場所で過ごす子どもたち。
災害が起きた時に、家族としてどのように動こうか？必要な物品はどれくらいかな？日頃からの備えが大切ですね。
さて、今回は地域との連携についてのお話です。



個別避難計画とは

『避難行動要支援者名簿』 ああ、なんか登録したかも？という方も多いのではないかと思います。
この名簿は災害時、自力での避難が難しい高齢者や障害のある方などを対象に、市区町村が名簿を作成・管理する制度です。
この名簿には、避難にあたって支援が必要な方の氏名・住所・緊急連絡先などが登録され、
平常時は個人情報として守られつつ、有事の際には支援者や消防・民生委員・福祉関係者などに提供されます。
この名簿に基づいて、一人ひとりに合わせた避難支援の計画を作る取り組みが『個別避難計画』です。
「誰がどのように避難を手伝うか」「避難経路や連絡方法はどうするか」など、細やかな情報を関係者間で共有することが目的です。
この計画の策定は自治体の努力義務となっています。
現状の課題としては、自治体が計画を作っても、実際に動ける体制になっていないことが大半であるという点。
本人・支援者での情報交換は行われておらず、『紙だけ作ってある』状態ということです。
能登半島地震の際も同様のことが起きており、支援者も避難行動要支援者の詳細な情報がなく避難支援が適切に行われなかったという事例がありました。
いざという時に実際に助けに来てくれる人がいるかどうか、それが命を分ける大きな違いになります。

これが実施できていないのが現状…😞

災害時の避難支援
平時の見守り
個別避難計画の作成



避難行動要支援者

登録申請
情報提供の同意

要支援者名簿、
個別避難計画の作成



支援者

町会・民生委員等、自治体により異なる

名簿情報、
個別避難計画の提供



市役所

だからこそ、必要なことは？

皆さんの住んでいる自治体の状況はどうなっていますか？名簿に登録してあるから大丈夫！ではないのが現状です。
支援者との顔の見える関係、協力体制、連絡方法の確認など、『誰が、いつ、どうやって助けるのか』が明確であることが重要です。
計画が問題なく策定されていた場合、避難訓練をしてみたことはありますか？
実態に即した計画があっても、実際に避難してみないとわからない課題もたくさんあります。
(人工呼吸器を使用している方は災害時個別支援計画が立てられていますね。同様に実際の訓練をしたことのある方はいますか？)
こうしたことも、地域連絡部の要望書で伝えていくとよいと思います。
こういう子が近所に住んでいるんだよ！と知ってもらうために、日ごろから近所の方にご挨拶をする、
町内会の避難訓練に参加してみる、年に1回でも副籍交流に行ってみる。それだけでも大きな一歩に繋がります。
そして、1年に1度は、ご家族と災害時の対応のことを話す機会もぜひ作ってみてくださいね。

東京都肢体不自由特別支援学校PTA連合会

「予算要望書」って何？（前編）

7月上旬に、「令和8年度予算要望書」という冊子が配布されましたね。

どのように作られて、どのような意味をもつのか？

今回は、作成から提出までの流れをお伝えしていきます。

校内で作成する、各自治体への要望書の東京都バージョンなんだな！と思ってご覧いただければと思います。

- 【2月】 3つの部局（教育庁、福祉保健局、産業労働・都市整備局）の中から希望の部局を決める
→私は教育庁を担当。項目【1】を志村学園会長と、【2】を永福学園会長と共に担当。
加えて、在宅レスパイト事業の都全域での実施と、居宅に限らず、学校で利用できるようにという要望をあげました。
- 【3月】 各項目を、それぞれの担当会長と相談しながら草稿作成。
- 【4月】 草稿の内容チェック。
使用する用語集に準じ、文章の誤字脱字や内容の矛盾、事実確認、より前向きに検討してくれる言い回しか？
感情的な表現はないか？
都肢P連役員校・要望書係と確認作業を5時間弱ほど徹底的にやりこみました。
- 【5月】 草稿を各部局内で最終確認。前述の作業を部局内でも行います。
- 【6月】 最終入稿した原稿を、都肢長（校長先生）に確認の上、最終入稿。
印刷業者さんへ発注
- 【7月】 東京都庁へ行き、各部局・各政党へ要望書をお渡し。
右の写真はその時の様子です（※加工により当社比1.5倍、顎がシャープで目が大きい。）
この後は、9月以降の部局・政党ヒアリングに向けてスケジュール調整。
ヒアリング時に伝える原稿を用意します。
政党は部局に比べ時間が短いので、各党力を入れている政策に重点をおいてまとめます。
後編に続く！



PTA役員のご紹介

PTAの仕事は何をしているの？

PTA執行部にいる人って、どんな人なんだろう？今回は第2弾、会計・庶務のご紹介です。

①PTAでの役割 ②好きなこと

会計

- ①入出金の伝票や会計資料の作成
- ②子供をつまみに晩酌をすることが楽しみです。

会計

- ①入出金の業務や振込等
- ②野球観戦です。地元が所沢なので、西武ライオンズを応援しています🍌

庶務

- ①PTA関係書類の配布・印刷
- ②韓国ドラマ・スイーツ

庶務

- ①役員会、運営委員会のレジュメ作成、PTA便りの発行など
- ②timeleszの推し活（タイプロをたまたま見てハマってしまいました）

編集後記

今回は防災をテーマにしてみました。会長の仕事のひとつとして、校内の委員会活動への参加があります。

学校運営、保健、そして先日参加したのが防災に関する委員会でした。

どの委員会も、先生方、地域の関連機関の方、有識者の方。色々な立場の方と話し合う場です。

防災委員会の会議に参加して、保護者の皆さんはどれくらいの準備をされているのかな？学校から遠いエリアにお住まいの方は、もし学校で被災した場合どのようにお迎えに行くのかな？きょうだいのいる方は…？などと考えを巡らせるきっかけになりました。

せっかくこのような貴重な場に参加させていただいたのだから、発信しないともったいない！と思い、

私の視点で防災についてまとめました。

都肢P連『予算要望書』の部局・政党ヒアリングでは、防災の件についてもしっかりと要望を伝えてこようと思います。

また、あわせて日頃から子供達の教育、PTA活動を支えてくださっている先生・職員の皆さんがよりよい環境で仕事ができるように。こちらも抜かりなく伝えてまいります。伝えたいことが山積みです…

役員の紹介は今回が最後。それぞれの好きなことを聞くと、会話のきっかけが生まれてとっても楽しかったです。

同じ推しのいる方、ぜひ執行部のメンバーに声をかけてくださいな！